

戸吹クリーン通信

1 「あったかホールまつり」に参加

「あったかホールまつり」に参加しました。

平成24年11月4日(日)に、北野清掃工場に併設されている あったかホール敷地内で「あったかホールまつり」が開催されました。テーマは「次世代に伝える地域の環境と絆(きずな)」で、たくさんの市民の方が参加され、フリーマーケットや各町会の模擬店、各種展示物など、楽しい1日を過ごしました。戸吹クリーンセンターの職員も参加し、子どもたちに風船を配りました。

あったかホールまつり会場



風船を配る職員



2 災害廃棄物の受け入れを開始

宮城県女川町の災害廃棄物の受け入れを開始します。

平成25年1月9日から2月末まで、戸吹清掃工場で東日本大震災で発生した宮城県女川町の災害廃棄物の受け入れを行います。受け入れる災害廃棄物は、空間放射線量測定で安全性が確認された可燃性の廃棄物(木くず、廃プラ等)です。被災地の早期復興を進めるため、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

空間放射線量測定状況



受け入れ状況



3

清掃工場の煙突から出る白い煙

清掃工場の煙突から出る白い煙は水蒸気です。

冬になると、市民の方から「清掃工場の煙突から白い煙が出ているが、あれは何か」というお問い合わせが来ることがありますが、あれは煙ではなく水蒸気です。清掃工場でごみを焼却すると、高温の排気ガスが発生します。この排気ガスには水分が含まれており、寒い日に煙突から大気へ放出したときに冷えて水蒸気となり、白い煙のように見えるのです。寒い場所で息を吐くと、白い煙のように見えるのと同じ現象です。気温が上がると見えなくなります。

排気ガスの状況 午前8時



排気ガスの状況 午前10時



4

アジア大都市ネットワーク視察団来場

アジア大都市ネットワーク21共同事業「資源リサイクルの促進」研修でアジア各都市の職員の方々が戸吹クリーンセンターに視察のため来場されました。

平成24年11月13日(火)、アジア大都市ネットワーク21共同事業「資源リサイクルの促進」研修で、アジア各都市(タイ、フィリピン、シンガポール)の職員の方々が、戸吹クリーンセンターに視察のため来場されました。職員の方々は、各施設や設備の稼働状況を熱心に見学されたあと、ごみ収集作業の現場に立ち会いました。

戸吹清掃工場 ごみピット見学



収集作業立ち会い

